

五 募入決定の	四 発行方法	三 用振等替法の適法	二 の法発号名 条律行項及の 及び根そ拠記	一 行成省 平条十令国財 成件五第債務省 十等年三の告 六を十十發告 年次二号行示 一の月)等第 月と二第に七 九お十五関号
------------	-----------	---------------	--------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------

非とて価のしてで競争う札価機用「成社第へ項五行平五利
 競す得格決、定あ争入」へ格関を振十債十昭及年の成回付
 争るらを定価めつ入札に以をは受替三等一和び法特十^ノ國
 入もれ募を格らて札発よ下競日け法年の条二財律例五
 札のる入受競れ、と行^レ争本る^レ法振第十政第に年
 発に価額け争た価同^レ発価に銀もと律替一六融十関度
 行よ格にた入利格時と行格付行のい第に項年資八すに
 レるをよ各札率競にい^レ競しとと^レう七關法資号るお
 と発そり申にを争行う以争てすし^レ十す律金^レ法け
 い行の加込おそ入わ^レ下入行る^レの五る第特第律る
 う^レ発重みいの札れ及^レ札わ^レそ規号法百別二へ公
 。以行平のて利にるび価^レれの定^レ。律一會条平債二
 下価均應募率お入価格とる振の以^レ号計第成の百義
 「格し募入とい札格競い入替適下平^レ法一十發十
 財日り二条する
 務告日第
 国大示に十省
 債券大臣す發項令
 大臨行の^レ
 臨時^レ。し規昭
 代^レた定和
 代理利に五
 子付基十
 第^レ国づ七
 債^レき^レ年
 の^レ、大
 發平藏

十	九	八	七	六	五	四	三	二	一
發			口	イ	口	イ	口	イ	方
行	振	額	最	払	札	非	入	価	入
日	替	額	低	札	非	込	札	非	入
位	單	額	發	競	札	格	發	競	價
平す額の振成るの記替	五	百六一	十付一行平百て基会千金しニ債う億額	割各當も各					
成るの記替	万	十万兆	億国項の成万はづ計八額た条のち円面	り申ての申					
。整載法	円	億円六	九債の特十円、き法百で利第発、金	当込るか込					
五年数又の倍は規	七	千八	千に規例五額發第万一行平	額てみ。らみ					
年の記定	千	八	万つ定に年面行十円兆国項の成	でるのその					
の記定	六	百	円いに關度金し一、六債の特十	一応のう					
金録に	百	五	て基すに額た条財千に規例五	兆					
額はよ	六	十	、づるおで利第政三つ定に年	募					
に、る	十九	四	額き法け五付一融百いに關度	額を					
よ最振	億		面發律る百国項資七て基すに	案					
る低替	万	八	金行第公億債の資十はづるお	分					
も額口	二	百	額しニ債六に規金四、き法け	順格					
の面座	千	三	でた条の千つ定特億額發律る	次					
と金簿	円	十	百利第発二いに別三面行第公	割高					

十四 初期利子

次そが金と平
号の銀額し成除税外しは者にへ額よに座も係及翌行を、十すの国た、又おたにりつにのるび嘗休支次六る税法金前はいだ百算い記と所第業業払の年こ率人額記外てし分出て載し得十日日う算六とをがに(一)国取、のしは又て税六にに。式月が乗適當の法得当二た、は振が号支当たに二でじ用該算人す該十金前記替源に払ただよ十きたを非式でる國を額記録口泉、おうるしり日る金受居にあ者債乗か(一)さ座徵そいへと、算を。額け住よるがをじらのれ簿収のて以き支出支(一)る者り場非発た当算る中さ利規下は払し払を所又算合居行金該式ものれ子定、期た期控得は出に住時額金にの口るに

(一) 発行時における
額面金額の総額× $\frac{0.1}{100} \times \frac{2}{365}$

十一イ
口の経利
払過札
込利行
み子率
入札競
行争格

(一) 年十額格十額
む十式は〇八面七面
も号に、募・錢金錢金
のによ払入一額以額
と規り込決百円以上百円
す定算金のセー円につ
るす出額の通セント
るしに通セント
期た加知つきぞ
日金えを九
に額、受
払を次け九
い第のた
込二算者
円八
募円
価八

二 十 十十
十 九 八七六

払	者	入	払	元	償	償	後	第
込		札	場	利	還	還	の	二
期		參	所	金	金	期	利	期
日		加	支	額	限		子	以

額面金額× $\frac{0.1}{100} \times \frac{1}{2}$